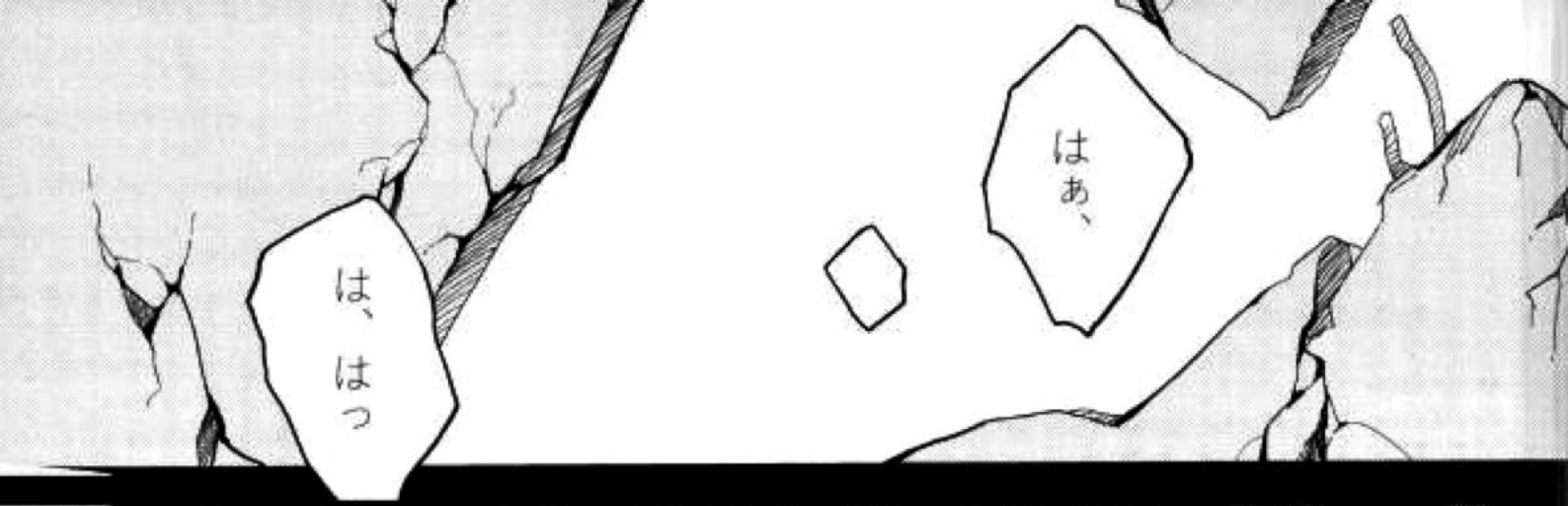


兩成敗







か、かつちゃん、
大丈夫？

黙れクンが！



...ゲッ



...いつも、心配するところなるんだ...



誰か助けて...!



だ、だめだよ！
何を言ってるのかよ！
だって…

かつちゃん、
左手やられたんでしょ？

言わなくてもわかるよ、
君一人行かせるわけには…

なに…？



ああ？てめえ、
またなめてんのか？



ヒーローになりてんだろ？
あ？今行かねえとあいつら死ぬぞ



てめーそれでいいのかよ

グッ



でも無茶しないって
約束してね！
敵の注意を引けば
いいよ！

てめーに教える
筋合いはねえん
だよクソ！



わ、
分かったよ



無茶しないで！

ダッ

じゃ行ってくるね



…失せろ



ハア...

ハア...

...んじゃ



ホワ...



BOOOOM



ヒーローは一体、なんのために戦うのか



大切な人を守り切るか



それとも人々の安全を守るためか



あの時





かつ...ちゃん?



クッ
アッ
ッ!!





いてえ

離せ



かっちゃん……



……え？



トム

ひどい怪我……
あつ、動かないですよ！
すぐ救援を呼ぶから

かっちゃん大丈夫？
よ、よかった！





俺の勝ちだぞ、



クソナードが

デクくん！

デクくん！

聞いている？

フニャ

大丈夫？
なんだか調子が
悪そうだけど…

う、うん

うん

分かったよ

じゃあ最近の講義、
爆豪くんのはここに
置いてくね、お願いするわ！

トッ



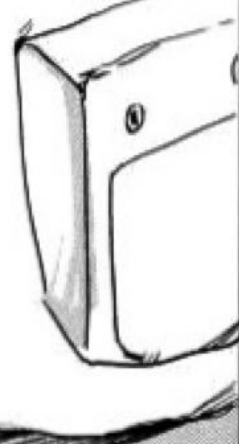
あの日から二ヶ月が経っていた
相澤先生からかつちゃんがもう
退院して家に帰ったという事を
聞いていた

この間も病院へ何回も足を
運んだけど、かつちゃんに
合わせる顔がなくなって、
結局帰ってしまった



ちゃんとかつちゃんに聞かなきゃ…

あの時、
かつちゃんに聞こえたんだろうか
独り言の告白
そしてあの時
かつちゃんが言いたかったこと…





しんぽ



って、
これを渡しに来たのか？

えうん



ちっ、こんなもん

一時間あれば覚えられる
他に用あんのか？

えっと

あ、あの

その…

ごめんなさい！



ツんだよ!

ハミヤ



それを言いにくん
ならもう出で行け、
俺は部屋に戻る

クルッ



やあ



あ、違う

ま、待ってよ!
そういう意味じゃ

その...
その時もし
もし僕が...

もし僕が...

ハミヤ





あの時かっちゃんのそばにいれば
こんな事にはならなかったのに！



もし僕がかっちゃん……！






ふざけんな！
俺のそばにいればあ？
何するつもりだ！


俺を守るのか？はあ？
デクのくせに…
人をなめるのもほどがあるぜ！




あの個性があつてから生意気なツラしやがって
毎日カッチャンかっちゃんってうるせんだよ！
俺を守るとか、勝つとか夢見やがってッ……！




デクはデクのままで
すりゃいいんだよ！



夢を見るんじゃないってんだ！
もうほっとけよ！



なんで俺がためー
なんか守られなきゃ
ならねえんだよ



俺が死んでもてめー
と関係ねえだろ！



関係ないわけないだろ!

……!!

僕はかっちゃんを
ほっとけないんだよ!

てっ

てっ

てめー……!!

好きだから！



キーン



好きだから



なっ……!



僕はかっちゃんが好きだから



好きだから守りたいんだよ!
好きだから守れなくて悔しんだよ!

分かってるだろ?



ひどいよ、わかってるくせに
どうして直接教えてくれないの
あのととき言いたかったんだろ？



「俺の勝ちだ」って

ホロ



かっちゃんが一体
何を考えてるのか、
教えてよ



…もう十分だ
てめーのそういうところが
一番気に食わねえ



ホッッッ



いつも独り言ぶつぶつ
言いやがって、
自分勝手なことばかりしやがって



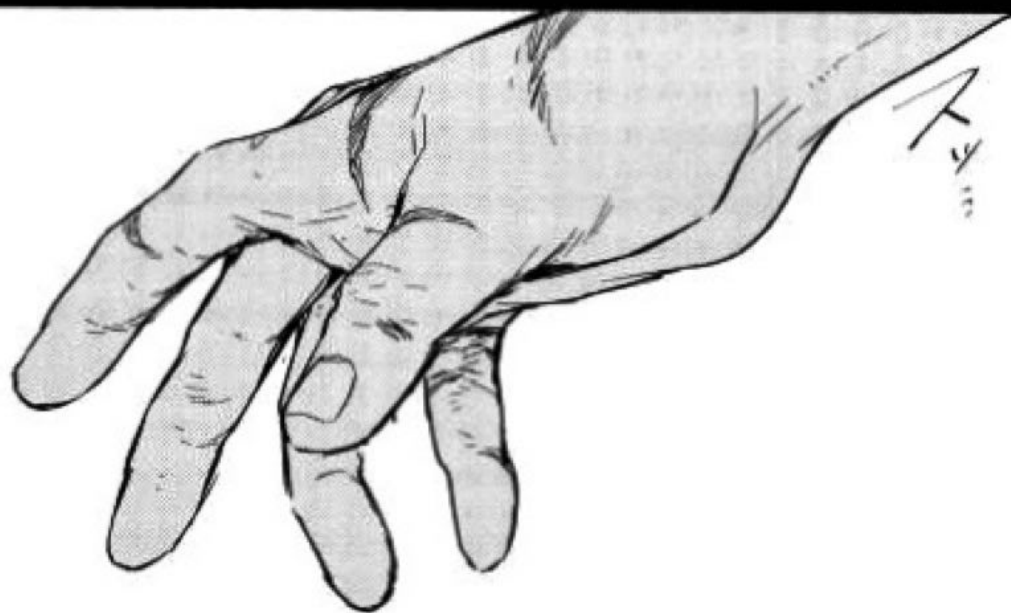


「守りたい」とか「好きだ」とか
わけわかんねえことを…
てめーのせいで頭ん中ぐちゃぐちゃなんだよ

てめーの顔なんか、

もう見たくねえ









嘘は言わないでね
かつちゃん

ハッ

ハッ

なあにすんだてめえ！
離せてつったんだろ！

だって、
本当に嫌だったら

僕をぶっ飛ばせばいいのに

……

やめろお!

おい、

おいデクツ、
なにをするつもり

ハッ

トッ...

うう...
かつちゃん...

...あつ!

ハッ

てめっ、あつ

ガッ

やめ、ろっ、
あ、んっ、はあ

ハッ

ハッ

ぐっ







ちよっと……
はなせッ！



かつちゃん……



……ッ！



……



……グッ！

もう我慢
できないんだ



ここまででは
させないだろう？



本当に嫌なら



あッ、かつちゃん……

ちがッ、う

いやだッ

さねの、なり



あ

かつちゃん……
僕……

あッ

はあ、あ……なッ

ああッ！ぐあ、

かつちゃんの顔が
見たいの……



かつちゃん……



かつちゃん……す

好きだ

ああっ……
くっこそ

ああっ、ん

かつちゃん

見てんじゃ、ねえ、
ころっ、す、ああっ……

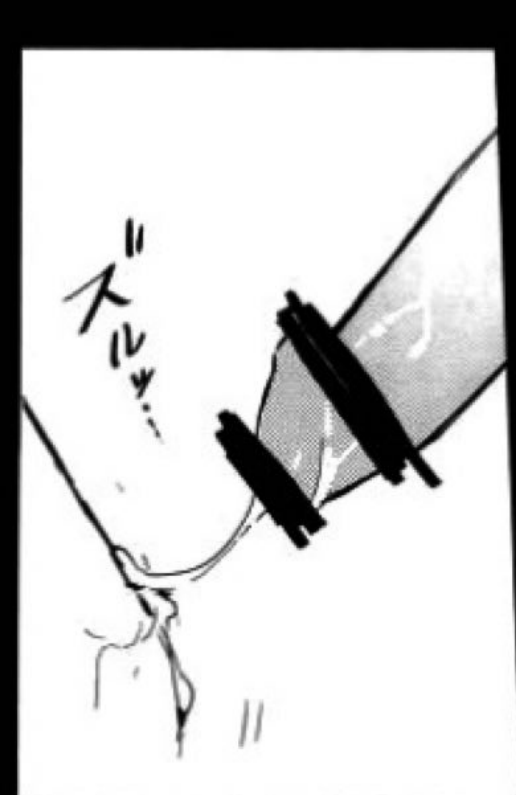
かつちゃん……

ズル

嫌っ、て

うあッ、ぐう





どうして…
どうして抵抗しなかったの
かっちゃん？嫌いだろ？



僕のこと、
どう思ってるの？
教えてよ



教えて

嫌だったら
昔のように僕を殴っていいのに…
どうして…ひどいよかっちゃん

ひどいよ…
かっちゃん…





ああ、それだ
その顔だ

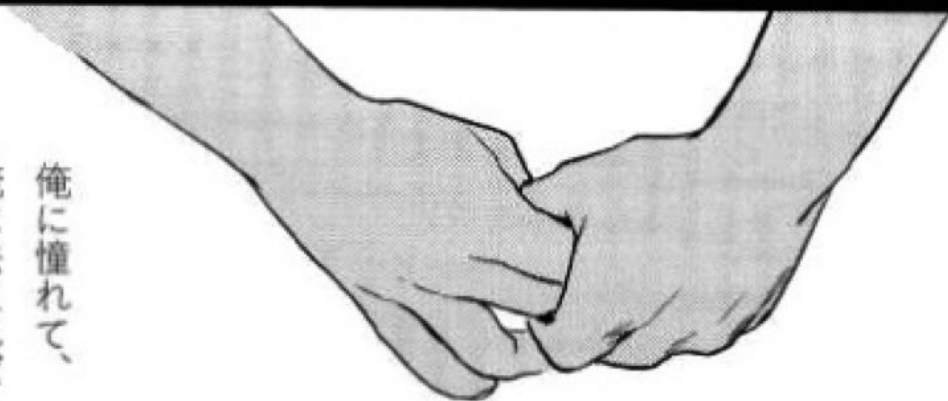


昔のように

泣きながら
俺の後ろについて
こりゃいい



俺に憧れて、
俺に怯えればいい



俺がデクのこと好きだあ？

んなわけねえだろう



俺はデクが大っ嫌いだ
嫌いだ

嫌いだ



絶対、デクなんかに負けねえ

好きになっちゃった

今回も俺の勝ちだ

デク



両成敗



